

TOM'S

TOM'S SPORTS SUSPENSION KIT

取付説明書

脱着作業を行う前に別紙の取扱説明書と合わせて必ずお読みください。

トヨタ C-HR

ZYX10 (H28年12月～)

商品番号: 48001-TZX10

目次

- 車高調整式サスペンションキットのキット内容…… 1P
- サスペンションキット交換時のご注意…… 1P
- 警告表示の意味…… 1P
- サスペンションキット組立図…… 2P
- フロント・サスペンション取外し/取付…… 3P
- リヤ・サスペンション取外し/取付…… 5P
- ショックアブソーバー全長調整範囲…… 7P
- 参考車高…… 7P
- 開発車両諸元表…… 7P

⚠️ 注意

フロントサスペンションにはプリロードが大きくかかる仕様となっております。プリロードを抜いた場合、アッパーマウントの特性上、異音が発生する場合があります。脱着の際は、必ずスプリングコンプレッサーを用いて作業を行ってください。不用意にトップナットを外すと、スプリングが弾け飛びケガをする恐れがあります。

⚠️ 注意

本サスペンションキットは標準車の標準車高を基本に製造されています。標準車高を変更すると、Toyota Safety Sense Pの誤作動が発生する可能性がありますので標準車高に合わせてご使用下さい。車高を変更した事による誤作動については弊社では責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

車高調整

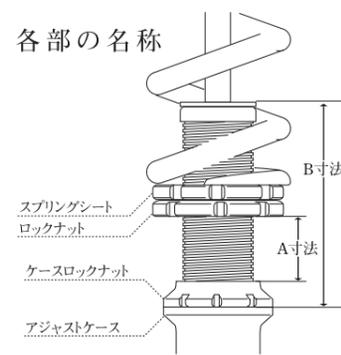
フロント

⚠️ 注意 ショックアブソーバーの全長を調整する際、必ず下記B寸法の範囲内(調整限界ミゾがアジャストケース・ロックナットより上に出ない範囲)で行ってください。

範囲外に調整した状態で使用しますと、アジャストケースが緩みやすくなり、ショックアブソーバーが車両から脱落するなど、重大事故につながる可能性があります。

	B寸法範囲	出荷時寸法
ZYX10 フロント	130mm～160mm	160mm

各部の名称



⚠️ 警告

本キットのショックアブソーバーには、車高を上げる限界を必ずミゾが印付しております。調整の際、このミゾは必ずアジャストケース・ロックナットの中に収まっているようにして下さい。ミゾがロックナットより上に出た状態で使用しますと、アジャストケースが緩みやすくなり、ショックアブソーバーが車両から脱落するなど重大事故につながる可能性があります。大変危険です。

調整限界ミゾ

危険例

*調整の仕方は、別紙“車高調整の仕方”を参照してください。

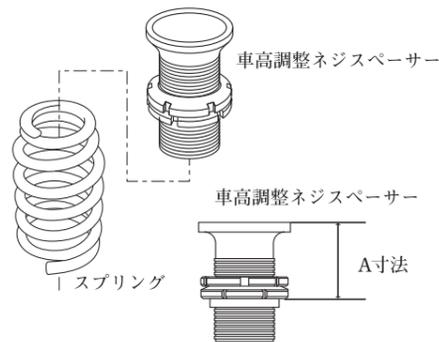
リヤ

①5～6ページのリヤサスペンション取外し手順を参照し、車体よりスプリングとネジスペーサーを抜き取る。

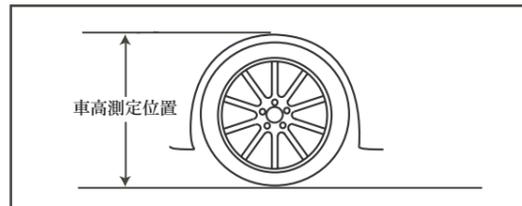
②車高調整ネジスペーサーのロウシート、ロックナットを緩め、左右のA寸法を希望する数値に合わせて、確実に締め固定する。
(A寸法を大きくすると車高が上がり、小さくすると車高が下がります。)

③5～6ページのリヤサスペンション取り付け手順を参照し、車体にスプリングとネジスペーサーを取り付ける。

※スプリングシート及びロックナットの締め付けは、必ず専用のレンチ(ひっかけスパナ)を使用し確実に締まった状態にしてください。



車高基準測定箇所



参考車高 (ノーマル比)

	フロントA寸法 40mm	リヤA寸法 45 mm
ZYX10 (HYBRID)	フロント 0mm	リヤ 0mm

⚠️ 注意

参考車高は、当社開発車両によるデータです。車重、装備品、使用するタイヤサイズにより、車高、最低地上高は異なりますので、必ず現車で計測し、最低地上高が保安基準に適合するように調整して下さい。(詳しくは所轄の陸運支局までお問い合わせ下さい。)

⚠️ 注意 車高調整毎に、必ず各自動車メーカー発行の整備書を参照して、ホイールアライメントを調整してください。

※基準値を超える場合、タイヤの偏磨耗及び、操縦性低下の原因になります。

開発車両諸元表

※下記のデータは、当社の開発車両データです。車両の年式、グレード、装備内容によりデータは異なる場合があります。

車名	トヨタ C-HR 型式 DAA-ZYX10			
グレード	G			
ホイールサイズ	フロント	7.0J-18 INSET 50		
	リヤ	7.0J-18 INSET 50		
タイヤサイズ	フロント	225/50-18	リヤ	225/50-18
トイン	フロント	1 ± 2 mm	リヤ	3 ± 2 mm
キャンバー	フロント	-0° 00' ±45'	リヤ	-0° 55' ±45'
キャスター	フロント	6° 50' ±45'		
車高(ノーマル比)				
ZYX10 (HYBRID)	フロント	-30 ~ 0mm	リヤ	-30 ~ 0mm

※ホイールアライメントの数値はメーカーの標準値を記載しております。

※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

🔍 キット内容

キット付属パーツ等全て揃っているか必ず確認してください。

フロントサスペンションキット LH	×1	リヤ 車高調整ネジスペーサー	×2
フロントサスペンションキット RH	×1	車高調整用引っ掛けスパナ	×2
リヤ ショックアブソーバー	×2	取扱説明書	×1
リヤ スプリング	×2	取付説明書	×1(本書)

⚠️ サスペンションキット交換時のご注意

🔍 1) 現在お使いの物を外す時の注意

- 取り外す全ての取付部品の状態や、位置を注意して見ておいてください。
- 硬目のブラシなどで、締め付け部からゴミや錆を取り除いてください。
- ネジを外す前に、錆びているナットやボルトに油を染み込ませてください。
- 取り外したサスペンションと取付部品は捨てないでください。

🔍 2) サスペンションキットを取り付ける時の注意

- 取り付ける前に、製品の適応車種、年式、取り付け位置等を確認してください。
- キット内容の組立図を参照して、取り付けに必要な全てのパーツが組み込まれているか確認してください。
- 取付が終わったら、取り付けしたサスペンションキットが車体、タイヤ、ホイールと接触していないか確認してください。
- 取り付けが終わったら、保安基準に定められた最低地上高・方向指示器高さ・霧灯照明部高さが確保されているか確認してください。
高さを確保できずに一般公道を走行すると法的処罰を受けます。

警告表示の意味

この取付説明書では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う重大事故の原因となる可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

「警告」や「注意」を促す記号



禁止



火気厳禁/火中に投じない

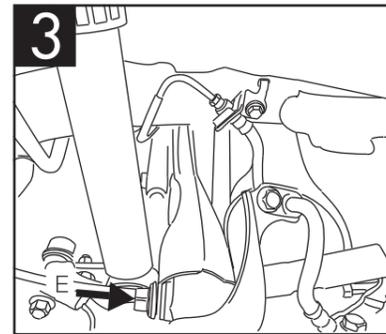


分解/改造禁止

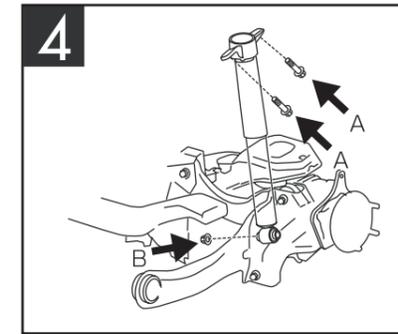
使用工具

リジットラック
引っ掛けスパナ
トルクレンチ
ガレージジャッキ

インパクト
スパナ
メガネレンチ
ラチェットレンチ

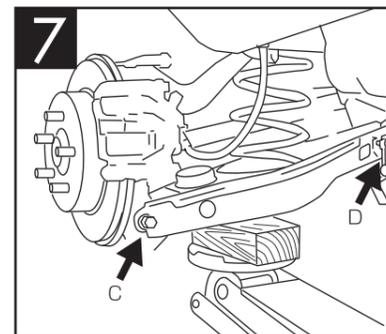


3
アップーコントロールアーム・アクスルキャリア側のボルトをナットを固定して取り外す。
(詳細図 E)



4
ショックアブソーバー下側のボルト（アクスルキャリアアピン）を固定し、ナットを緩める。
(詳細図 B)

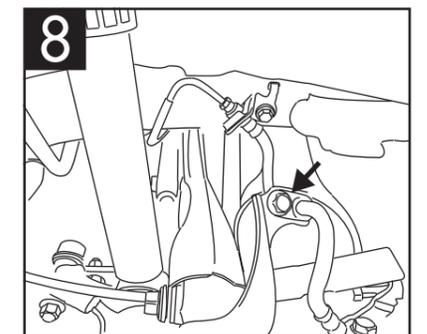
アップーマウントのボルト2本を外し、ショックアブソーバーを車両から取り外す。
(詳細図 A)



7
スプリングの上に、構成パーツの車高調整ネジスペーサーを左右のA寸法(7ページ参照)を合わせた状態で乗せ、純正のラバーシートを取り付け、車体に取り付ける。
木片を介してリヤサスペンションアームをジャッキで支える。
リヤサスペンションアームのメンバー側ボルトを、ナット側を固定して指定のトルクで締め付ける。
指定トルク 100Nm (1020kgf・cm)
(詳細図 D)

※車体に取り付けた状態での車高調整はできません。必ず、取り付けの前に左右のA寸法を合わせて下さい。

次にリヤアクスルキャリア側のボルトをナットを固定して指定のトルクで締め付ける。
指定トルク 73Nm (744kgf・cm)
(詳細図 C)



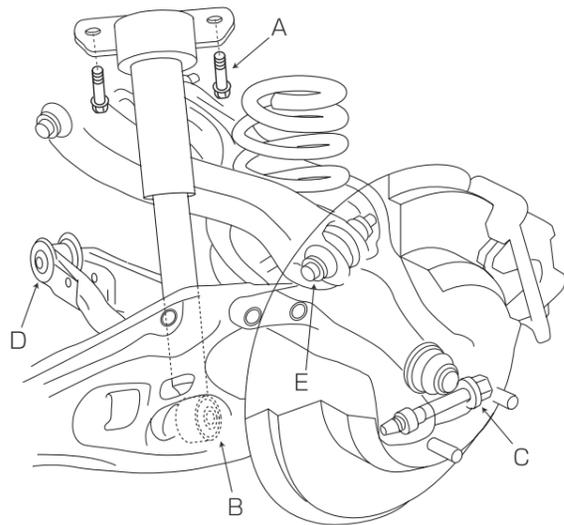
8
アップーコントロールアームにブレーキホースを取り付け、ボルトを指定のトルクで締め付ける。
指定トルク 29Nm (296kgf・cm)

⚠️ 注意

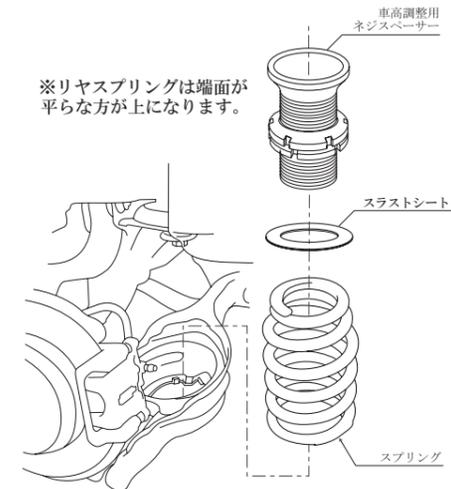
ブレーキホース、センサーハーネスに無理な力がかかったり、傷つけないように注意の事。

TOM'S REAR リヤサスペンション

脱着のポイント 《詳細図》



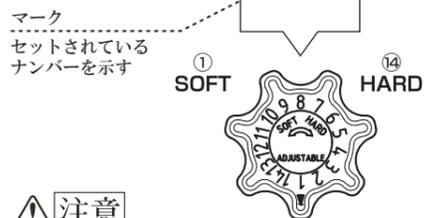
フロント/リヤ共に、取り外しの手順で左右を取り外してから、サスペンションキットの取り付けを行ってください。



※リヤスプリングは端面が平らな方が上になります。

減衰力調整の仕方

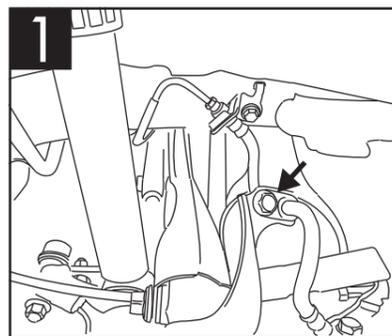
ショックアブソーバー側面にあるダイヤルを回し、▼マークの位置と、選択する減衰力のダイヤルナンバーを合わせる。



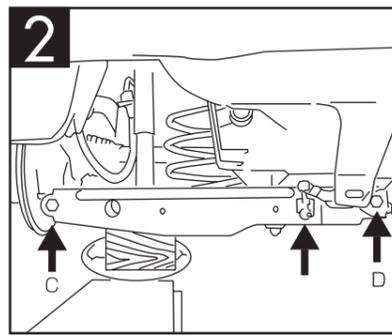
ダイヤルはカチッと音がしたところにセットしてください。中途半端な位置ではセットされません。

左右のショックアブソーバーの減衰力は必ず合わせてご使用ください。事故等につながる恐れがあります。

取外し



ボルトを外し、ブレーキホースをアッパーコントロールアームより取り外す。



ハイトコントロールセンサを外す。木片を介してリヤサスペンションアームをジャッキで支える。リヤサスペンションアームのメンバー側ボルトを、ナット側を固定して緩める。次にリヤアクスルキャリア側のボルトをナットを固定して取り外す。ジャッキを徐々に下げていき、スプリング及びラバーシートを取り外す。

(詳細図 C、D)

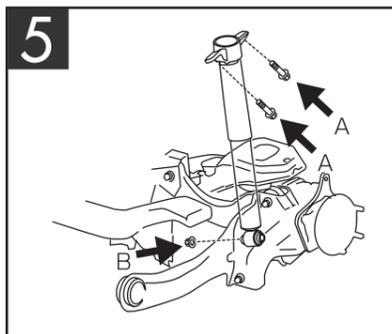
注意

ブレーキホース、センサーハーネスに無理な力がかかたり、傷つけないように注意の事。

注意

急激にジャッキをおろすと、スプリングが弾け飛びケガをする危険性があります。必ず、ゆっくりジャッキをおろしてください。

取付け

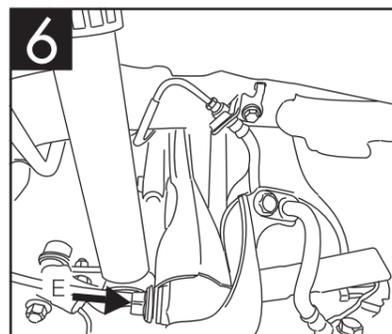


ショックアブソーバー下側のボルト(アクスルキャリアアピン)を固定し、ナットを指定のトルクで締め付ける。

指定トルク 125Nm (1275kgf・cm)
(詳細図 B)

アッパーマウントのボルト2本を指定のトルクで締め付ける。

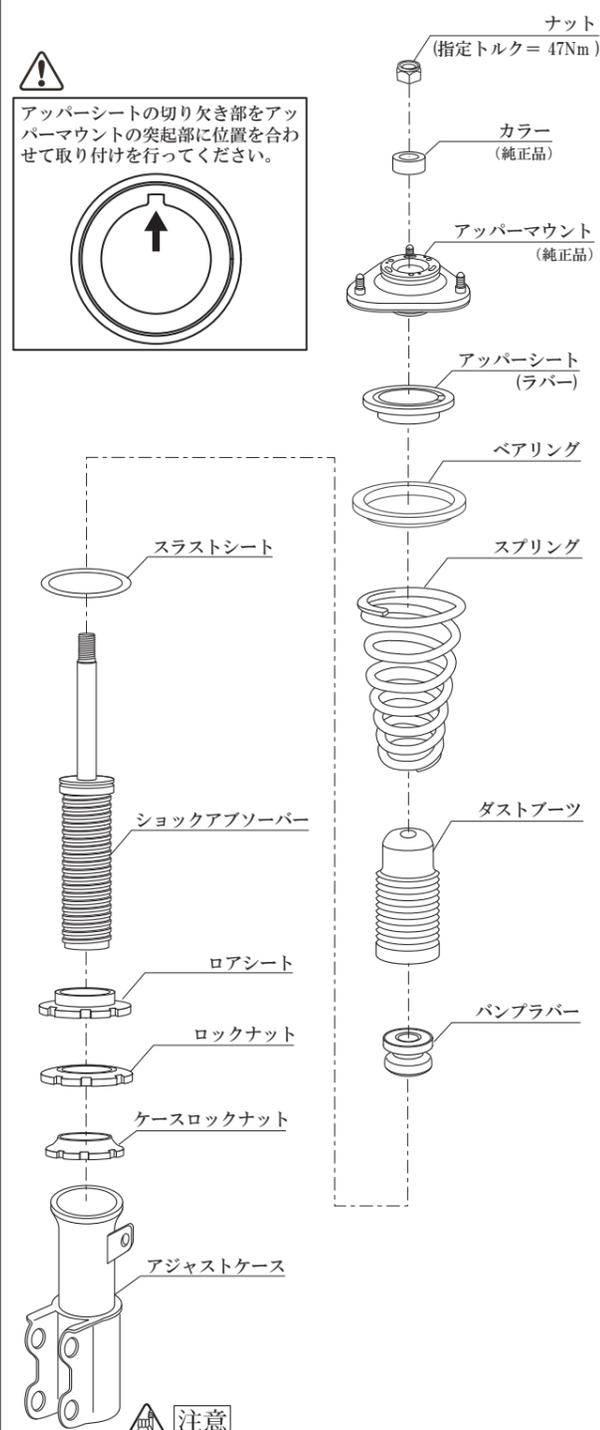
指定トルク 55Nm (561kgf・cm)
(詳細図 A)



アッパーコントロールアーム・アクスルキャリア側のボルトをナットを固定して指定のトルクで締め付ける。

指定トルク 73Nm (744kgf・cm)
(詳細図 E)

フロント・サスペンション組立図

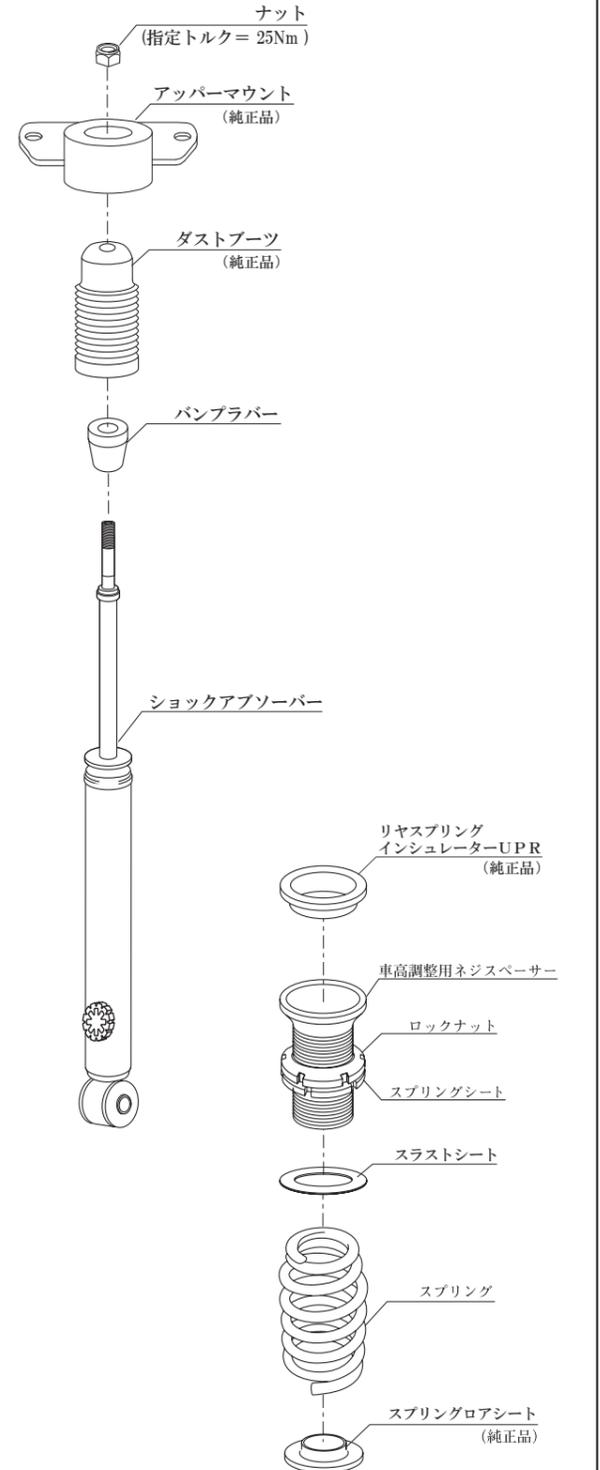


アッパーシートの切り欠き部をアッパーマウントの突起部に位置を合わせて取り付けを行ってください。

注意

純正アッパーの特性上、スプリングにはプリロードが大きくかかっています。脱着の際は、必ずスプリングコンプレッサーを用いて作業を行ってください。不用意にトップナットを外すと、スプリングが弾け飛びケガをする恐れがあります。

リヤ・サスペンション組立図



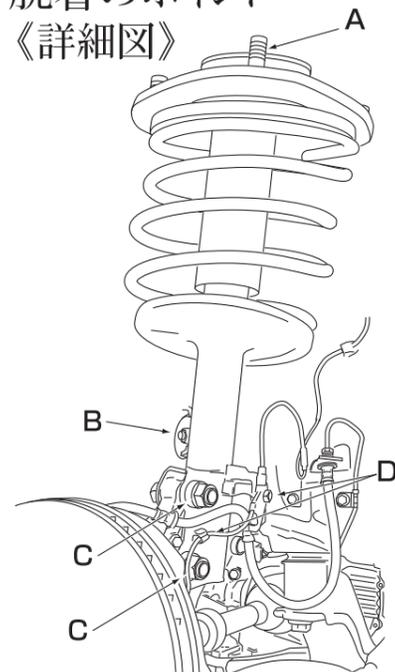
※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

注意

サスペンションキット組立時及び増し締め時の注意
このキットのショックアブソーバー上部ナット(ピロナット及びセルフロックナット)を締め付ける際、インパクトレンチの使用や指定値以上のトルクで締め付けを行わないで下さい。オーバートルクによる締め付けは、ショックアブソーバーの破損の原因になります。

FRONT フロントサスペンション

脱着のポイント 《詳細図》

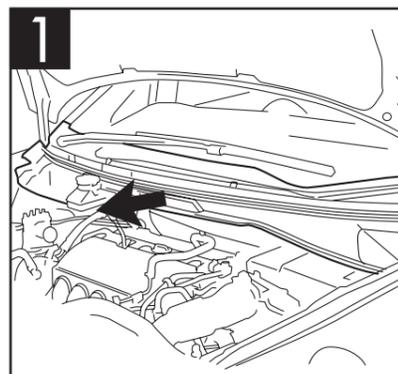


フロント/リヤ共に、取り外しの手順で左右を取り外してから、サスペンションキットの取り付けを行ってください。

使用工具

リジットラック	インパクト
ひっかけスパナ	スパナ
トルクレンチ	メガネレンチ
ガレージジャッキ	ラチェットレンチ
スプリングコンプレッサー	

取外し



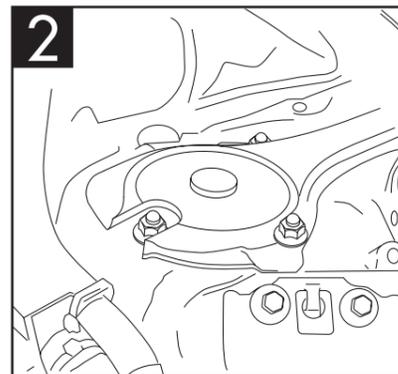
ワイパーアームを取り外し、カウルトップベンチレーターバASSYを取り外す。

ワイパーモータ&リンクを取り外す。

⚠注意

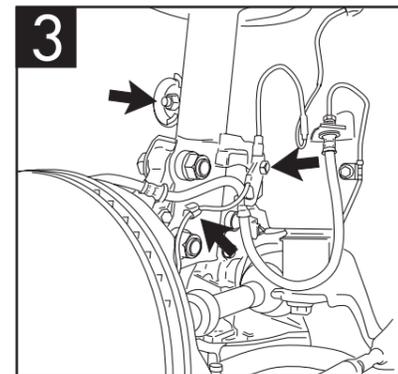
カウルトップベンチレーターバASSYはフロントウィンドウに隣接しているため、十分に注意して作業を行ってください。

※純正部品脱着の詳細は、整備解説書を参照すること。



エンジンルーム内のショックアブソーバー上部取り付けナット3個を緩める。このとき、緩めるだけで取り外しはしない。

(詳細図 A)



ナットを外し、スタビリンクをショックアブソーバーから切り離す。

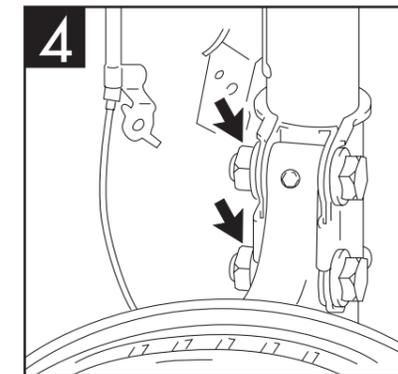
(詳細図 B)

ボルト及びクリップを外し、ブレーキホース、スピードセンサーハーネスをショックアブソーバーから切り離す。

(詳細図 D)

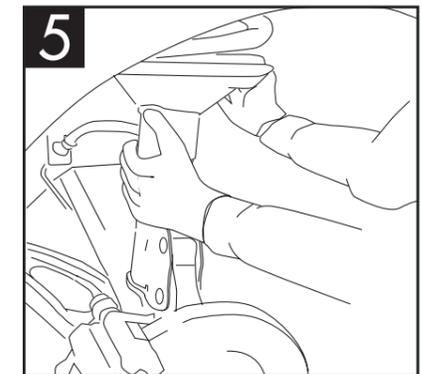
⚠注意

ブレーキホース、スピードセンサーハーネスに無理な力がかかったり、傷つけないように注意して下さい。



ナックル下部をジャッキで持ち上げ、車重を掛けた状態でショックアブソーバーとナックルを止めているボルト2本を外し、ナックルとショックアブソーバーを切り離す。

(詳細図 C)



ショックアブソーバーを手で支えながら、[2]で緩めたエンジンルーム内のショックアブソーバー取り付けナット3個を取り外し、ショックアブソーバーを抜き取る。

⚠注意

ショックアブソーバーは重量がありますので手でしっかり支えること。足に落下してケガをする可能性があるため注意する。

⚠注意

ブレーキホース及び、スピードセンサーハーネス引っかけり、切断したりキズをつけたりしないように注意して下さい。

アッパーマウントの取り外し/取付

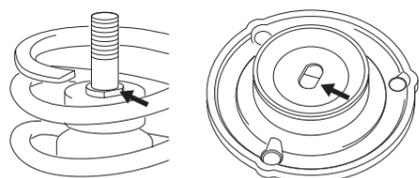


スプリングコンプレッサー

装着していたアッパーマウントを取り外す

[5]で取り外したストラットにスプリングコンプレッサーをかけ、スプリングを圧縮する。スプリングを圧縮したままSSTでストラットを固定しながらアッパーマウントのセルフロックナットを取り外す。

⚠ スプリングが圧縮されフリーになっていることを確認してから取り外してください。スプリングコンプレッサーを戻すときは、ストラットからスプリングを外した状態で徐々に戻してください。



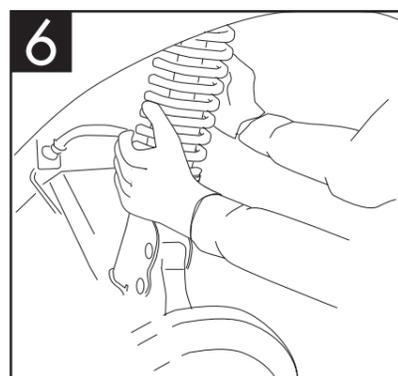
サスペンションキットに取り付ける

サスペンションキットのロワシートを一番下まで下げ、本書2ページの組立図を参照して、取り外したアッパーマウントをサスペンションキットに取り付けセルフロックナットを仮締めする。

⚠ サスペンションサポートの切り欠きをピストンロッドの切り欠きに合わせて取り付け。

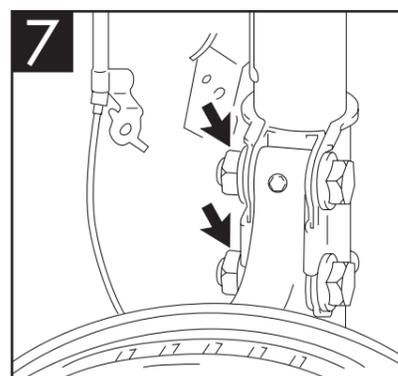
※イラストは一般的な取り外し取付手順です。形状等実車と違う場合があります。

取付け



ショックアブソーバーを車体に取り付け、エンジンルーム内のフランジナット3個を仮付けする。

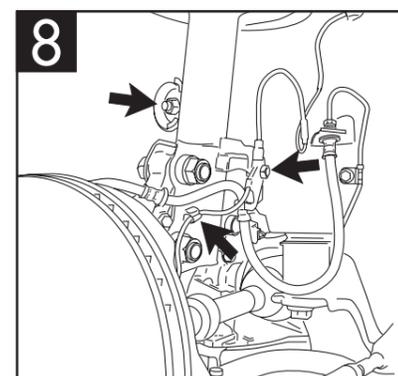
(詳細図 A)



ジャッキでロワアームを持ち上げ、ストラット下側とナックルアームを接続し、車両後方よりボルト2本を差込み、ナット2個を取り付け、指定トルクで締め付ける。

指定トルク 270Nm (2753kgf·cm)

(詳細図 C)



スタビリンクを接続し、ナット1個を指定トルクで締め付ける。

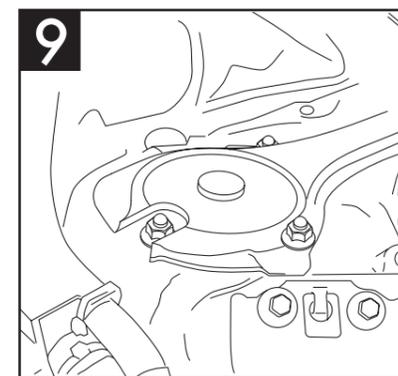
指定トルク 74Nm (755kgf·cm)

(詳細図 B)

ボルト及びクリップでブレーキホース、スピードセンサーハーネスを、ショックアブソーバーに取り付ける。

指定トルク 29Nm (296kgf·cm)

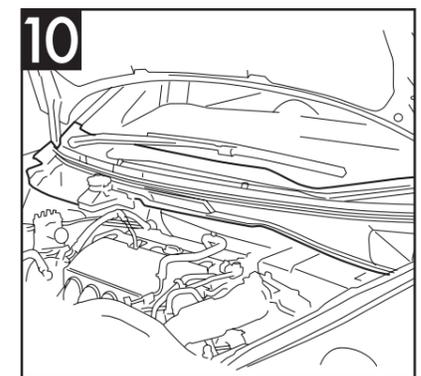
(詳細図 D)



取り付け手順[6]で仮付けしたエンジンルーム内の取り付けナット3個を指定トルクで締め付ける。

指定トルク 50Nm (510kgf·cm)

(詳細図 A)



ワイパーモータ&リンクを取り付ける。

カウルトップベンチレーターバASSYを取り付け、ワイパーアームを取り付ける。

⚠注意

カウルトップベンチレーターバASSYはフロントウィンドウに隣接しているため、十分に注意して作業を行ってください。

※純正部品脱着の詳細は、整備解説書を参照すること。

※イラストと実際の形状は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。